

## バス路線廃止にともなう沿線での説明会について（ご報告）

楠供用会館	10/12（木）13時 参加6名	11/16（木）19時 参加0名
-------	------------------	------------------

いただいたご意見等：

- ・もっと小さい車両にすればいい。（会社注；現在は小型バスを使用）
- ・運賃を値上げできないのか。
- ・自分はバスには滅多に乗らない。
- ・これからは大藪まで自転車で行く。（川下出張所の駐輪場を利用）
- ・自家用車があるから必要ない。
- ・廃止が既に決まっているので今更どうにもならない。
- ・赤字ならば仕方ない。
- ・交通局でどうにもならなくて、株式会社になったのだから仕方ない。
- ・減便して不便になった。

平田東供用会館	10/12（木）19時 参加0名	10/19（木）19時 参加2名
	11/16（木）13時 参加0名	11/30（木）13時 参加0名

いただいたご意見等：

- ・赤字路線は全て廃止にしたらどうか。
- ・廃止の基準はなにか。（会社注；ほとんどお客さまのご利用がない路線）
- ・利用者が少なければ減便するならば、増えるわけがない。利用者目線のダイヤではない。
- ・バスは利潤追求だけではダメなのではないか。
- ・一方的に廃止の説明をするのは納得いかない（会社注；法定協議会等で説明を重ねている）
- ・この会議も参加者が少ないし、問い合わせもないと聞く。ほとんどの住民はバスについて「どうでもいい」と思っているのではないか。興味関心がないのが現実だろう。
- ・他の地区ではバス停があることでタクシーの助成の対象外になると聞く。本数の少ないバスならば、廃止してもらったほうがタクシーに乗れるので余程良いと聞く。（会社注；「長寿支援タクシー」制度）
- ・自治会から敬老のお祝いでバスカードをもらう。無手数料で払戻はしないのか。（会社注；会社としては沿線の他のバス停から利用をしていただきたいので無手数料払戻はしません。手数料はかかるが換金できると捉えていただきたい。景品として購入していることは関知していない。）
- ・いわくにバスの貸切バスに乗りたい。赤字解消にもなるのではないか。（会社注；現在は路線バスに集中している。岩国観光バスさまをご利用いただきたい。）

牛野谷供用会館	10/26（木）13時 参加4名	11/30（木）19時 参加1名
---------	------------------	------------------

最初に会社側より今後の牛野谷循環線の運行計画予定について説明

- ・平日に1日4便は変わらず。土日祝日は運行を取りやめる（現在2便）
- ・朝夕は岩国商業高校スクールバス（路線バス形態）と統合。岩国医療センターを經由し、平日は毎日運転を行う。
- ・日中の便は錦帯橋、川西、医療センター、尾津を經由する。
- ・これまで旧交通局の時より①南岩国エリアの循環バス、②西岩国駅から岩国医療センターへの多頻度運行などを行ってきたが、利用はほとんどなかった。種々の工夫を続けてきてはいるが、利用が伸びていない。一方で列車接続（西岩国駅）を意識していない点や南岩国方面へのアクセスが不十分など課題はある。現行の本数を維持する中で、改善を重ねていきたい。

いただいたご意見等（10/26）

- ・小型バスにしたら安く買えるのではないかと（会社注；価格はそうは変わらない。現在は中古バスを購入している。）
- ・廃止する路線には補助がないのか（会社注；牛野谷循環線含めて一切ない。）
- ・タクシーは使いにくい、乗りにくい。できればバスに乗りたい。
- ・バスに乗る人がほとんど居ないので、残してとは言いにくい。
- ・バスをこれまで運転していただき、ありがたい。
- ・今後も残るし、配慮をされていると思うので理解した。
- ・岩国駅には時間を潰す場所もなく、待ち時間はつらい。
- ・運賃を上げることはできないのか。高くても残してほしい。
- ・岩国商業高校スクールバスに現在も乗れるとは思わなかった。

いただいたご意見（11/30）

- ・利用者がいなくてもバスを走らせるべきである。
- ・赤字の路線を維持する会社の努力が足りない。
- ・運転士のマナーやサービスも悪く、さすが低賃金の人間のクズが集まって働いている会社である。
- ・高給であった交通局の運転士に戻ってきてもらいたい。
- ・一番の責任は路線を廃止するまでにした社長であり、早く辞めさせたほうがいいので市役所や市議会議員に依頼する。

門前供用会館	10/26（木）19時 参加0名	12/7（木）13時 参加5名
--------	------------------	-----------------

- ・牛野谷循環線の再編や基地前や大藪経由を増便して存続させる説明を聞いて会社の取り組みは理解するし、配慮はありがたいが、やはり困る人は出てくるだろう。
- ・廃止される路線は経路が分かりにくく、そういう事情も利用が少ないことの原因の一つだと思う。
- ・今はバスが不要でも5年後はもっと高齢化が進み、その時にバスがないと困る。
- ・地元として行政に補助を出してもらおうようお願いして、またいつかバスを走らせて欲しい。

川下供用会館	11/2（木）13時 参加1名	11/9（木）19時 参加0名
--------	-----------------	-----------------

- ・廃止する際は事前に相談はないのか。（会社注；法定協議会等で説明を重ねている）
- ・足が悪い年寄りはこの会議には来れない。（会社注；バス車内、岩国駅でも周知を行っている）
- ・利用者がいなくてもバスを走らせるべきである。
- ・赤字の路線を維持する会社の努力が足りない。
- ・経営者として失格である。
- ・タクシーは高いので乗りたくない。
- ・気分が悪いので、これからは一切バスを利用しない。JRを使う。

※なお、下記の会場においては参加された方はいらっしゃいませんでした。

連帆野地供用会館	10/19（木）13時、12/7（木）19時
岩国供用会館	11/2（木）19時、11/9（木）13時